

ピレリグループの倫 理規定

ピレリグループのアイデンティティーとは、常に我々全員によって追求され守られてきた様々な価値の上に歴史的な積み重ねにより構築されたものであります。これらの価値は、年が経つにつれ、企業文化を強化し豊かにすると同時に、持続可能な成長を目指すことを可能にし、責任ある発展のための決定的な誘因力となってすべてのステークホルダーに対し利益を長期にわたって満足させることを可能にしたものであります。これらの原理に由来する規則と、不正行動の予防を目的とする当規定は、当社の倫理規定に適正に当てはまるものであります。本文書はその内容を社員全員が知り、参照できるよう、準備されています。我々の一人一人が、日常の行動において、一つ一つの内容の効果を確認するための本質的要因として、個人の責任を求めるものであります。

マルコ・トロンケッティ・プロヴェーラ
ピレリ&C.株式会社社主

目次

はじめに	5
ピレリグループの価値	6
序言	8
行動原則	9
社内管理システム	11
ステークホルダー	12
– 株主、投資家、金融組織体	
– 環境	
– お客様	
– 人的資源	
– サプライヤーと外部コラボレーター	
– グループ外の共同体	
– 競争相手	
規定の遵守	15

はじめに

偉大な工業力分野にて伝統を持つピレリグループは、今日ではタイヤ製造における世界的リーダーの一社であり、そのすべての関連分野に於いて国際的な主要企業の一社であります。年々の発展とともに、今や我がグループは国際的な規模となり、様々な地域社会にも貢献しております。我々の競争力は人的資源の持つプロレベルの能力、テクノロジーおよびリサーチ能力、品質、そして顧客のニーズに応える継続的な対応を基盤としています。これらの要素により、高品質の製品を製造・販売し、世界各国の各地域や異なる市場において成功を収めております。

イノベーション能力、産業形態の変化を予知する能力は、品質、環境および社会への影響において、また「グリーンエコノミー」分野の新製品とソリューションの開発を通して、常にその能力自体を改善する方向へし向けています。我々の行動は、世界各地でピレリグループと関係を保持するすべての人間が一貫した責任を持って対応する倫理規定に着想を得ています。広く世界レベルにも知られているピレリ・コーポレート・ガバナンスの優秀性は、トップマネジメントによるシステム化された優先的業務となっています。我々の企業のあり方は、直接責任請負とチームワークの最高のバランスを追求することで、戦略的方針の定義は中央集中化し、オペレーションの責任はローカルレベルに分散しております。我々の止まることのない成長は適切な価値の創造によって支えられており、株主や投資家のみならず、我がグループおよび関連グループ企業と何らかの形で相互作用を持つすべての人々の利益を守ることに連携しております。

ピレリグループの価値

→ 誠実さと正しさ

企業内外の関係において、プロとして誠実さと正しさを持って行動すること。

→ 透明性

グループ内外において経済/財政結果を明確かつ正確に、きちんと期限内に提示すること。より適切な選択肢がある場合は、たとえ上司の決定に一致しない場合でもきちんと意見を述べるなどして、比較を促すこと。異なる観点を受け入れ、変化を奨励すること。組織内の各レベルと相互的に情報交換すること。

→ 持続可能な成長

長期にわたって責任ある発展を保証するために働くこと。経済・社会・環境の各次元間の現存の関係および相互作用をきちんと意識し、このうちの一つの次元内においてとった決定が他にも影響を与えるか検討すること。

市場の需要を予測し、「グリーン」テクノロジーおよび製品の研究開発活動においてはリーダーシップを発揮するようにして、今日の作業が明日の世界にポジティブな効果を発揮できることを意識すること。価値創造、社会発展、ステークホルダーへの気配り、生活基準および環境品質の向上などを組み合わせること。

→ 常にお客様に意識を向けて

ピレリグループが業務を行う市場を理解し、自らの行動と振る舞いのお客様にどのようなインパクトを持つかを考慮すること。お客様の利益、そしてニーズを先取りし、そのためのすべての可能なチャンスを見逃さない。

→ 結果への責任と緊張感

計画の定義とその展開、具体的な結果の生み出しに対して常に個人的に努力を怠らず、結果を目指すこと

→ プロフェッショナル・エクセレンス

技術的ノウハウを準備し、一番になるためにそれを駆使すること。秩序と情熱を持って、規則を守りながら仕事をする。

→ イノベーション

実際に改善が必要な製品/サービス/プロセスにおいて常に根本的に新しいソリューションを考え出す。現在の標準を満足できるものとして受け入れず、最高のものを追求すること。現存のプロセスおよびシステムを改善するチャンスを常に探し出すこと。

→ クオリティとパフォーマンス

製品、システムの優秀性、生産プロセスの最高品質を保証する。常にパフォーマンスへ対する緊張感を持ち、性能と安全性においてお客様の期待に添うようにすること。

→ 融合

様々な状況を持つ関係にも適応できる特有の行動に関しても意識すること。企業内の各種機能、異なる地理的状況においても、常に共通の目標に向かって幅広く協力すること。努力骨折りの増幅を最小限に抑えながら、効率を上げ、変化を奨励すること。

→ 迅速性

ステークホルダーのニーズを予知し、それを満足させるソリューションを見つける緊急性を察知すること。発展のニーズに素速く反応しながら、最も適した効果あるソリューションを見つける。

序言

ピレリグループでは、企業の成功はビジネス倫理を度外視してはあり得ないと いう確信のもとに、本倫理規定（以下「規定」）に定めた原則に沿って内外の活動を行うするものとする。

ピレリグループの管理職者、監査役、経営陣、従業員、そしてピレリグループのためにイタリア国内外において各種業務を行うすべての人々、またはグループ と取引関係のあるもの（以下「規定対象者」）は、それぞれの役割と責任の範囲内において本規定に含まれる原則と指示を守るよう求められる。

行動原則

完全性、透明性、誠実さ、そして正しさがピレリグループの活動を形成している。

特に以下の点をピレリグループは重視する：

- 市場における優秀性と競合性を追求し、お客様のニーズに対応した質の高い製品とサービスを提供する；
- ビジネスにおいて必要な機密性を損なわず、かつ企業業務の競争力を保護しつつ、すべてのステークホルダーに行動の透明性を保証する。このような理由から規定対象者はその役割を通じてまたはそれを遂行したりする際に取得または引き出した情報を極めて内密に扱うことを保証するものとする；
- 公正な競争を促進する。これはグループの利益を追求する基本的な要素であると同時に、すべての市場取引業者、お客様およびステークホルダーへの保証でもある；
- 経済的目標を達成するためのあらゆる違法且つ不正な行動を忌避し糾弾しなければならない。その目標はイノベーション、品質、経済・社会・環境的持続可能性におけるパフォーマンスの優秀性によってのみ追求されるものである；
- 活用する人的資源を保護し、その能力を十分に発揮させる；
- 職場環境においては、性別、配偶者の有無、性的指向、宗教、政治・労働組合関係の考え方、肌の色、人種、国籍、年齢、能力等で差別せず、平等を追求する；
- 国際的に明言されている人権保護を追求し、支持する；
- 環境と未来の世代の権利のために、持続可能な発展を実現させる目的に沿って、資源は責任を持って使う；
- いかなる形式または方法によるものでもいかなる司法権においても、たとえそこでは許容、寛容され、法的に追求されない慣習であっても、贈収賄は一切容認しない。したがって、規定対象者にも贈答品やその他の少しでも法律違反となるようなものを提供したり、規定に反することや、公になることでピレリグループのイメージにだけでも損害となるような行動は禁ずるものとする；

-
- 会社資産を擁護し、保護する。グループの害となる不当な着服、窃盗、詐欺のような行為を防止するための各種装置を設置することもある；
 - 自らこれらの目標に相応しい品行を求めることにより、当社およびグループの無形資産である会社の評判、外部コラボレーターの評判を守る。その狙いは、ピレリグループ独特の性格を反映する一連の価値が具現化された企業文化を保存するためのものでもある；
 - 会社の利益をないがしろにして、個人的および/または第三者の利益を追求することは激しく非難する；
 - 業務を行っている社会共同体における現役の責任ある構成員として、グループ内および外界との関係において現地国の法律を遵守させる義務がある；
 - 自社の従業員および組織機構を作り、
 - 社員およびコラボレーターの法律および透明性、正しさ、公正さの原則違反を防止する組織機構を構築し、それが遵守され具体的に実行されていることを監督する。

社内管理システム

社内管理システムの効率と効果は、本規定の規則および原則に沿った業務活動を展開のために不可欠である。「社内管理システム」とは、ツール、活動、手順および組織構造などを組み合わせたものであり、主なリスクの識別、測定、監視を通して、以下の目標を保証するものである：

- 記録、決定事項のトレーサビリティを保証する企業活動の効率と効果；
- 会計および経営関連情報の信頼性；
- 法律および規則の遵守；
- 企業資産の保護。

上記の目的のために、規定対象者には社内管理システムの改善に貢献するよう求められる。

管理および監督組織、内部監査および外部の監査人は、各自それぞれの責任の範囲内で、活動を行うにあたって人員、活動、業務、文書、記録資料、企業資産に完全および直接自由にアクセスすることができるものとする。

ステークホルダー

ピレリグループは「マルチ・ステークホルダー」アプローチを採用しており、これはグループおよびグループ企業と何らかの形で相互作用を持つすべての人々の期待に公正に適合させた長期的に持続可能な成長を追求するものである。

→ 株主、投資家、金融組織体

あらゆるレベルの株主、投資機関、民間投資家、金融アナリスト、市場オペレーター、そして各種金融組織体全般との関係において、ピレリグループは正確さ、時宜性、情報アクセスの平等さの原則を持って完全な透明性を持って行動し、グループの資産が正しく評価されることを狙う。

→ 環境

ピレリグループは、その活動を行ううえで環境と公衆衛生に配慮する。

投資およびビジネス上での決定においては、環境の持続可能性を重視する。当グループはエコロジーを配慮した成長を支持し、とりわけグループの業務による環境への影響を、場合によっては法的限度よりも小さく抑えることができるような特殊な技術と生産方法を導入（経営上かつ経済的に実行可能な場合）する。

当グループは、自らの活動を管理するために認証された環境管理システムを適用し、浪費を削減し、天然資源の保存に貢献する生産方法および技術を採用する。さらに自らの製品とサービスの環境への直接および間接的影響を評価する。

当グループは、地域スケールおよび世界スケールでの環境の持続可能性を促進するために国内外の主要な組織と協力し合う。

→ お客様

ピレリグループは継続的なイノベーションをもって製品とサービスに秀逸性を築き上げ、お客様のニーズを予測しそれを満たすために、迅速にかつ礼儀正しく、丁寧に、そして協力を惜しまず対応す

ることを目的とする。

→ 人的資源

ピレリグループは、あらゆる企業の成功への鍵はそこで働く人々に公正かつ相互信頼のある環境からくるプロ意識であると確信しており、人的資源を中心的存在として認識している。

ピレリグループは、職場の健康、安全、労働衛生を保護する。これらは、改善と進化を絶えず続ける管理システムや、予防と職業リスクの実質的管理に基づいた健康および安全に対するアプローチを通して行われる。

ピレリグループは、企業活動において労働者の権利の遵守を不可欠なものにとらえている。

同様に、ピレリグループは、相互尊重および人々の尊厳を基盤として行動するよう求める。

労使関係管理は、マルチカルチャーな職場環境の効果のために、労働者の職業的成長を支援し、特に平等さを保証するものとする。

→ サプライヤーと外部コラボレーター

サプライヤーおよび外部コラボレーターは会社の全体的な競争力を改善していく上で根本的な役割を持っている。

グループのサプライヤーおよび外部コラボレーターとの関係は、最大限の競争力を追求する上で、すべての関係者に対し公正で公平、平等な立場をとる。

ピレリグループは本規定にある原則と指示を、サプライヤーおよび外部コラボレーターにも遵守してもらうよう要求する。

→ グループ外の共同体

ピレリグループは地域、国、国際行政機関などと、相互的自主性、経済目標、規定に含まれる価値を守りながら、透明性を持って、完全で有効な協力的関係を維持する。

当グループは効果的なサービスと進んだテクノロジーを持って、自らが業務活動を行っている共同体の成長と経済的繁栄に貢献するものとする。

当グループはまた、昇進や人々の生活境遇の改善に役立つ社会、文化および教育的イニシアチブには賛成し、支援する場合もある。ピレリグループは政党、労働組合やそれらの代表者および候補者には、法の遵守が適用される範囲内であっても、寄付金、特典、その他の支援などを行わない。

→ **競争相手**

ピレリグループは正しく公正な競争が、企業と市場の発展において根本的な要素であると認識し、自らの業務活動をイノベーション、品質、そして製品のパフォーマンスを基盤とした競争を振興する。会社とグループのすべての社員は不用意な商業活動を控え、グループのために行ったことだから原則に反する行動も正当化されるというような判断を絶対にしてはならない。

規定の遵守

ピピレリグループは、あらゆる企業の成功への鍵はそこで働く人々に公正かつ相互信頼のある環境からくるプロ意識であると確信しており、人的資源を中心的存在として認識している。

ピレリグループは、職場の健康、安全、労働衛生を保護する。これらは、改善と進化を絶えず続ける管理システムや、予防と職業リスクの実質的管理に基づいた健康および安全に対するアプローチを通して行われる。

ピレリグループは、企業活動において労働者の権利の遵守を不可欠なものにとらえている。

同様に、ピレリグループは、相互尊重および人々の尊厳を基盤として行動するよう求める。

労使関係管理は、マルチカルチャーな職場環境の効果のために、労働者の職業的成長を支援し、特に平等さを保証するものとする。

